



ほどはら通信

令和4年1月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

1月の主な行事

- 1月 4日(火) 仕事始め
- 7日(金) 工賃支給日
- 8日(土) 土曜利用日 新年を祝う会

1月誕生月 おめでとうございます

佐藤修二さん

誕生月おめでとうございます。誕生会は昨年12月24日に行いました。

謹賀新年

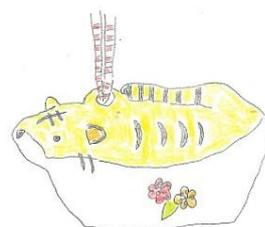


本年もどうぞよろしくお祈いします

令和4年 元旦



ほどはら授産所 利用者・職員一同



理事長
年頭ごあいさつ

2022年新年のごあいさつ



利用者さんのための
施設を目指して



社会福祉法人あぶくま福祉会
理事長 吉田 修次郎

ほどはら授産所利用者の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さん、あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお喜びいたします。

皆さんにとって2022年の寅年が、素晴らしい一年間となりますようお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大してから約2年、ワクチン接種も大分進行し年末には感染者が減少しました。しかし今後、ワクチンの抗体の低下によるブレイクスルー感染や新たな変異株オミクロンの感染拡大等が新たな心配の種となっております。

幸い、私たちの法人施設からは感染者を出すことなく過ごせております事、利用者・保護者・職員等関係者の皆さんのお陰であると感謝申し上げます。今後も感染予防を徹底して施設運営をしてみたいと思っております。ご家庭においても手洗い消毒等基本的な感染予防をよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍の中で令和3年の施設運営は、あぶくま祭りや旅行をはじめ各種事業が中止や形を変えての実施となりました。

その中でも昨年は長年の課題の一つでありました利用者の送迎をバス送迎からワゴン車送迎（西回りのみ）へと切り替える事が出来、送迎の負担の軽減が図られたものと考えております。今年は完全実施に向けて取り組む必要があります。

施設整備面では、社会福祉充実計画が最終年となり花卉園芸のハウス建設が土地の造成まで終り、ハウス建設に入ったところであります。今年度末の完成を目指して工事が進められるものと思います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

更には、相談支援事業所も4月に開設することが出来ました。

施設は常に「利用者のための施設である。」ことを念頭におき、施設での生活が楽しく充実したものとなるよう、生活や作業しやすい環境作りにこれからも職員とともに努力してみたいと思っております。一日も早くコロナが収束し利用者の皆さんが日常の活動が楽しく出来るようになると良いと思います。

保護者の皆様には何かとご支援ご協力をお願いすることが多々あると思いますが、ご理解を頂きますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

～幸せ多き一年になりますように～



ほどはら授産所保護者会
会長 池田 光雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大にはじまり、全世界で蔓延し、人類がこれまで経験したことの無いような緊急事態となっております。

当施設が主催している「あぶくま祭」、「研修旅行」、「ほどはら花市」、「遠足」などはことごとく中止せざるを得ませんでした。残念でなりません。

当然、生産活動も停滞し、大変な打撃を受けております。また、新たなオミクロン株が世界各地で発生し、陽性患者も増えつつあります。一日でも早く収束し、私たちの普段の日常生活が送れるようになることを願わずにはおられません。

所長さんはじめ職員の方々の日々のご指導に対して、御礼と感謝を申し上げます。

結びに、当施設のますますの発展と皆様にとりまして幸せ多き一年になりますようご祈念申し上げ、保護者を代表して新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

～課題を解決し
充実した1年に～



ほどはら授産所
所長 中木 雅彦

新年あけましておめでとうございます。ほどはら授産所利用者の皆様をはじめ、同保護者会、地域の皆様にとって、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて昨年は、ワクチン接種の効果もあり新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少が見られましたが、新たな変異株の脅威もあり、コロナに対応した生活様式が続き、この生活が普通になってしまった一年になりました。皆様も同様だったことと思います。したがって、ほどはら授産所の行事も昨年に引き続き中止にせざるを得ませんでした。そのような状況下、明るい話題として、新しい拠点「相談支援事業所よつば」が4月にスタート、8月には利用者さんのコロナワクチン集団接種を施設で行ったことと社会福祉充実計画事業が工事開始となったこと、9月にこれまで喫緊の重要課題であった「個別送迎」について西回りバス利用者さんを対象に実施できたことなどが挙げられます。そして何よりもあぶくま福祉関係者から新型コロナウイルス感染陽性者の発生がなかったこと、これが一番良かったことであり、これからもずっとそうあり続けていきたいと思っております。

さて、今年の干支は「壬寅」（みずのえとら）です。「壬」は、厳冬、沈滞を表し、「寅」は動くの意味で、春が来て草木が生きる状態を表しており、二文字を合わせると、令和4年は冬が厳しいが過ぎ春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生れる年になるといわれています。

寅年にちなんでほどはら授産所の今年の目標を述べると、厳しいコロナ禍を今年も我慢

し、春の芽吹きとともに利用者さん一人ひとりが生き生きと施設を利用し、日々楽しく過ごしていただけるよう支援していきたいと思っています。新年度に向けて個別送迎の範囲拡大と、利用者さんの工賃向上が最重要課題です。この課題解決に向け職員一丸となって取り組んでまいります。

新しい年を迎え、利用者さんはじめ、保護者の皆さんや施設職員の皆さん、地域の皆さんとのコミュニケーションを大事にし、多くの方がたから親しまれるほどはら授産所にしていくことをお誓いします。

結びに、令和4年が皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

伊達市役所で授産品販売！



密を避けるため、4週間にわたって参加事業所も分散して出店 この日は当所のほかに、桑折町の輪楽創さん、保原町のポネールさんが出店しました（写真提供 伊達市社会福祉課）



ほどはら授産所販売コーナーでトイレットペーパーを購入する市役所職員さん（写真提供 伊達市社会福祉課）

12月8日、伊達市役所本庁舎1階ロビーで、伊達市自立支援協議会就労支援部会主催による「障がい福祉事業所販売会（第2日目）」が開かれ、ほどはら授産所も出店し、刺し子布巾とトイレットペーパーを販売しました。販売活動は職員のお昼休みの時間に行われ、当所のコーナーにも多くの職員の方々が訪れ、品物をお買い求めいただきました。

編集後記 明けましておめでとうございます。ほどはら通信1月号、今年も1ページ目は年賀状風にしてみました。イラストは、ほどはら授産所の岩崎真由美さんに描いていただきました。ありがとうございました。▼理事長、保護者会長さんには、年頭のごあいさつをいただきました。御礼申し上げます。利用者さんの就労へのモチベーションの維持向上を図りながら、施設に来て満足感が得られるよう努めていきたいと思えます。▼新型コロナウイルスは新たなオミクロン株の出現で感染者数が微増しています。皆さんには引き続き感染予防の手洗いうがい・マスク着用・三密回避で、身を守るようにしてください。▼真冬の季節になりました。お体ご自愛のうえ、いいお正月をお過ごしください。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。(M)